

健康

今後の健康事業は

健康意識を高めて

問

須恵町は平成30年度から令和2年度までの3年連続で、高医療費市町村に指定されています。2年前の医療費により算定されるため、平成30年度の実績医療費が25億5049万1569円と高額で、令和2年度は県内で2位との不名誉な認定を受けました。

県からも、高い医療費を解消する事業を行うよう求められています。現在も、特定検診未受診者対策事業、医療費適正化事業、健康づくり事業、普及啓発事業などを行っていますが、なかなか結果に結びついていません。

医療費削減、保健事業強化のための今後の健康事業、子どもの糖尿病予防の取り組みについて質問します。

答 平松町長

平成29年度に作成した第2期データヘルス計画に沿って、毎年さまざまな事業を展開しています。生活習慣病予防および重症化予防にも取り組み、住民の健康保持増進を図ることで、医療費適正化と健康寿命の延伸を目指しています。

現在、特定健診未受診者への受診勧奨、健診時の保健指導事業の強化などを行っていますが、今後の新規事業として、健康教育を計画しています。生活習慣病などの疾病に対する知識の習得や自宅実践できる体操指導などの健康講座を「まなびつく」において行います。

りませんが、今後もさまざまな場面で健康に関するイベントを実施し、住民の健康意識を高めていきたいと考えています。

答弁中の平松町長



今村 桂子 議員

また、若年性の糖尿病に対する事業については、住民課や健康福祉課と協議し、取り組んでいきたいと思えます。すぐには医療費削減とはな



教育

スポーツ教室の開催を

体育協会等と連携し推進

問

本年は、いよいよ東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。各競技において選手の活躍が期待されます。須恵町でも、たくさんの方々がスポーツが普及し、町民の方々が、それぞれの目標を持ち、楽しみ励んであります。小学生やサークルなど、各団体が活動するには、十分な場所や施設が必要になります。

スポーツには、それぞれ目標を掲げ、それを成し得るために、夢や憧れ、たくさんの方々の経験と技術の向上が必要だと感じます。

そこで、子どもたちやスポーツ団体に対する町の現状と取り組みについてお尋ねします。

※3月定例会後にオリンピック・パラリンピックの延期が決定しました。

答 平松町長

町内には、あおば会館や町立スポーツ公園など12の社会体育施設があります。施設を定期的に使用しているのは80団体で、日曜日の一般使用を含めると、ほぼ毎日稼働している状況です。たくさんの方が、日々スポーツに親しみ、健康で活力ある生活を送られています。町としても限られた財源と資源を有効に活用したいと考えています。

スポーツ教室などのトップアスリートとの交流については大賛成です。技術だけでなく、スポーツに対する姿勢など、多くの事を学べる良い機会だと思えます。フレンドリータウンに関する協定を結んだアビスパ福岡との交流など、今後も体育協会等と連携し、町のスポーツ推進を図っていききたいと考えています。



藤野 正剛 議員



プロ選手との交流に期待

©avispa fukuoka

どげんなつとうと？